



奈良県経済の概況

新型コロナウイルス感染症の影響により厳しい状況にあるなか、一部に弱さがみられるものの緩やかに持ち直している

個人消費 百貨店・スーパー販売額は前年同月比 3 か月連続の減少

住宅着工 新設住宅着工戸数は前年同月比 5 か月連続の増加

公共投資 公共工事請負金額は前年同月比 2 か月連続の減少

雇用情勢 有効求人倍率は前月比 0.05 ポイント低下の 1.18 倍

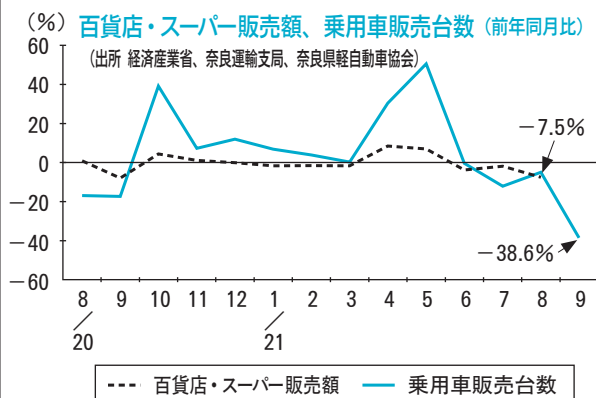
企業倒産 倒産件数は 11 か月連続の一桁台

生産活動 鉱工業生産指数は前月比 2 か月連続の低下

1

個人消費

百貨店・スーパー販売額は前年同月比 3 か月連続の減少

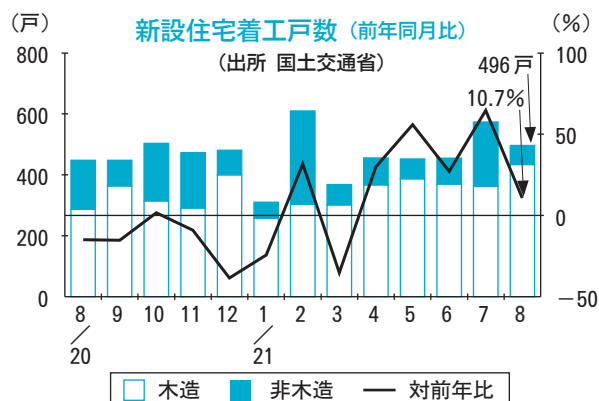


- 8月の百貨店・スーパー販売額（速報値、全店ベース）は前年同月比 7.5%減の 173 億 46 百万円となり、3 か月連続の減少。新型コロナウイルス感染症の影響もあり、2019 年同月比は、5.2%減。
- 9月の乗用車販売台数は前年同月比 38.6%減の 2,482 台と、4 か月連続の減少。普通乗用車は同 33.2%減、小型乗用車は同 39.6%減。軽乗用車は同 43.0%減となった。2019 年同月比は、49.2%減。

2

住宅着工

新設住宅着工戸数は前年同月比 5 か月連続の増加

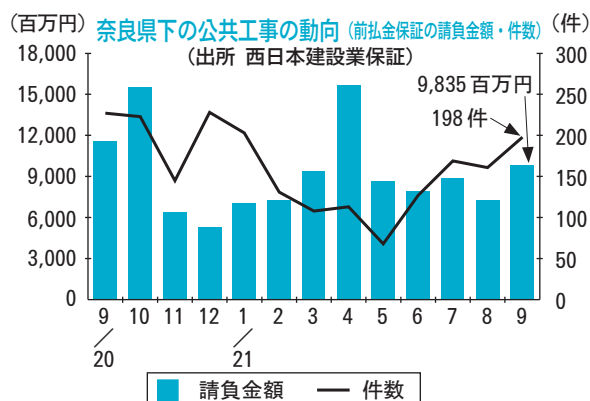


- 8月の新設住宅着工戸数は前年同月比 10.7%増の 496 戸と、5 か月連続の増加。2019 年同月比は、5.9%減。
- 利用関係別にみると、持家は同 33.8%増の 261 戸と 5 か月連続の増加、貸家は同 19.7%減の 126 戸と 5 か月ぶりの減少、分譲住宅は同 13.5%増の 109 戸と 5 か月連続の増加となった。

3

公共投資 (西日本建設業保証の保証取り扱い)

公共工事請負金額は前年同月比 2 か月連続の減少

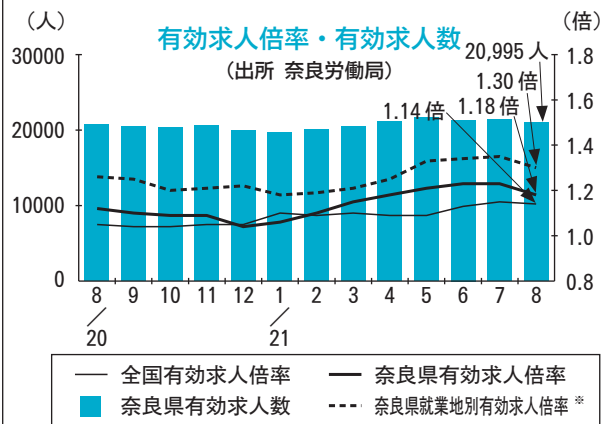


- 9月の公共工事請負金額の動向をみると、件数は前年同月比 12.8%減の 198 件となり、4 か月ぶりの減少。金額は同 15.3%減の 98 億 35 百万円と、2 か月連続の減少。
- 発注者別にみると、国は同 28.0%減、県は同 14.7%増、市町村は同 37.3%減。

4

雇用情勢

有効求人倍率は前月比 0.05 ポイント低下の 1.18 倍



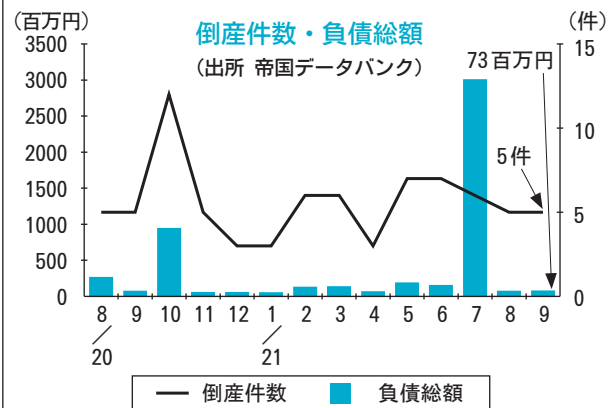
※実際の就業地が奈良県内の求人の倍率

- ・ 8 月の有効求人倍率（季調値）は前月比 0.05 ポイント低下の 1.18 倍となり 8 か月ぶりの低下。前年同月比は 0.06 ポイント上昇。
- ・ 新規求人倍率（季調値）は、前月比 0.22 ポイント低下の 1.76 倍となり 2 か月連続の低下。前年同月比は 0.17 ポイント低下。
- ・ 一部に持ち直しの動きが見られるものの、求職者が高水準にあり引き続き厳しさがみられる。新型コロナウイルス感染症が雇用に与える影響に注意する必要がある。

5

企業倒産

倒産件数は 11 か月連続の一桁台

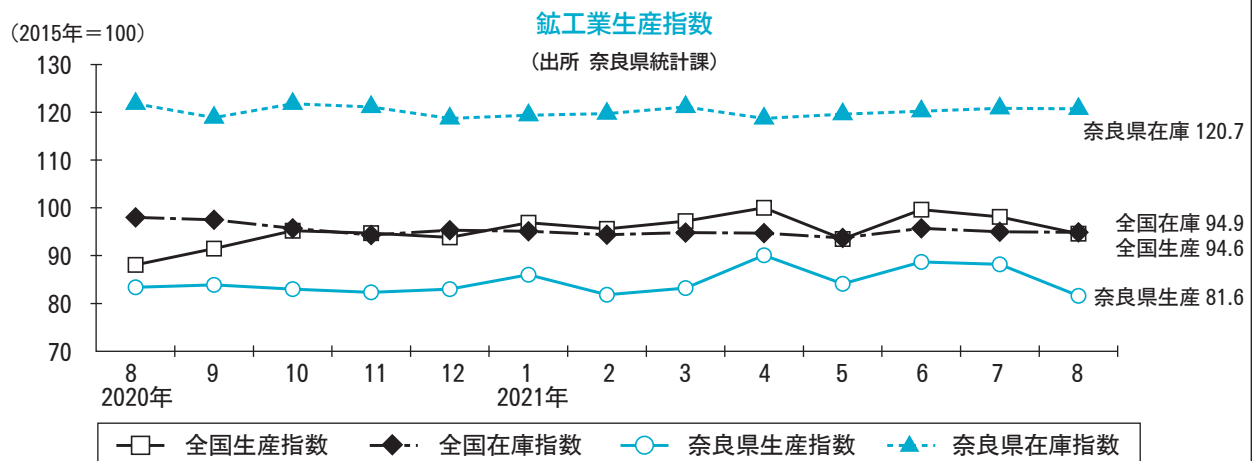


- ・ 9 月の倒産状況をみると、件数は前年同月と同じ 5 件となり、11 か月連続の一桁台。負債総額は同 4.3% 増の 73 百万円と 2 か月ぶりの増加。
- ・ 業種別では、サービス業が 3 件、運輸・通信、その他が各 1 件。倒産形態では、5 件すべてが自己破産であった。
- ・ 新型コロナウイルス関連の倒産件数は 10 月 20 日現在で累計 14 件で、サービス業他を中心に増加している。

6

生産活動

鉱工業生産指数は前月比 2 か月連続の低下



- ・ 8 月の鉱工業生産指数（季調値、速報値）は、前月比 7.5% 低下の 81.6 となり 2 か月連続の低下。原指数は前年同月比 1.0% 低下の 76.6 となり 5 か月ぶりの低下。在庫指数は前月比 0.1% 低下の 120.7 となり 4 か月ぶりの低下。

- ・ 業種別生産指数の動きは、生産用機械工業、窯業・土石製品工業、その他製品工業等の 7 業種が前月比上昇となる一方、金属製品工業、輸送機械工業、食料品・たばこ工業等の 10 業種が同低下。